

## 第2回水稲病害虫発生予察結果

4月下旬～5月上旬植えの早生品種（コシヒカリ、ひとめぼれ等）

### 【生育状況及び病害虫発生状況】

コシヒカリ等の早生品種は、1株の茎数が 19～24本となり、多くの田んぼで中干しが行われています。茎数が20本程度となったら中干しを行ってください。

中干しのやり方については前回の予察結果をご確認ください。

また、病害虫の発生は確認されませんでした。

### 【けい酸加里(中肥)の施用】

けい酸加里は、根の張りをよくする効果や稲の茎を硬くし倒伏しにくくする効果があります。

中干し期間前までに施用するようにしましょう。

施用量は10aあたり20kgとなります。



けい酸加里

### 【雑草について】

多くの田んぼではオモダカ、ホタルイなどの水田雑草の発生が多く確認されました。雑草を確認したら早めの除草剤散布を行ってください。

これからの除草剤として「バサグラン粒剤」があります。使用の際は、田んぼを落水状態(足跡に水が少し残る程度)にして散布を行ってください。また、散布後2～3日に田んぼに水を入れたり雨が降ってしまうと効果が低下しますので、**散布後3日間は雨の降らない日を狙って**散布してください。

薬剤名	使用時期	使用方法	使用量	使用回数
バサグラン粒剤	移植後15～55日 (ただし収穫60日前まで)	落水散布または ごく浅く湛水して散布	3～4kg/10a	1回

5月中旬～5月下旬田植えの晩生品種(きぬむすめ、あいちのかおり SBL 等)

### 【生育状況】

5月中下旬に田植えを行った中生・晩生品種では、分茎数が10本程度と増えてきております。分茎数を確保するために昼間は水を止め、水温を確保するように努めてください。

今回の調査では病害虫の発生は確認されませんでした。雑草の発生が見られましたので、早めに除草剤の散布を行ってください。